

JA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

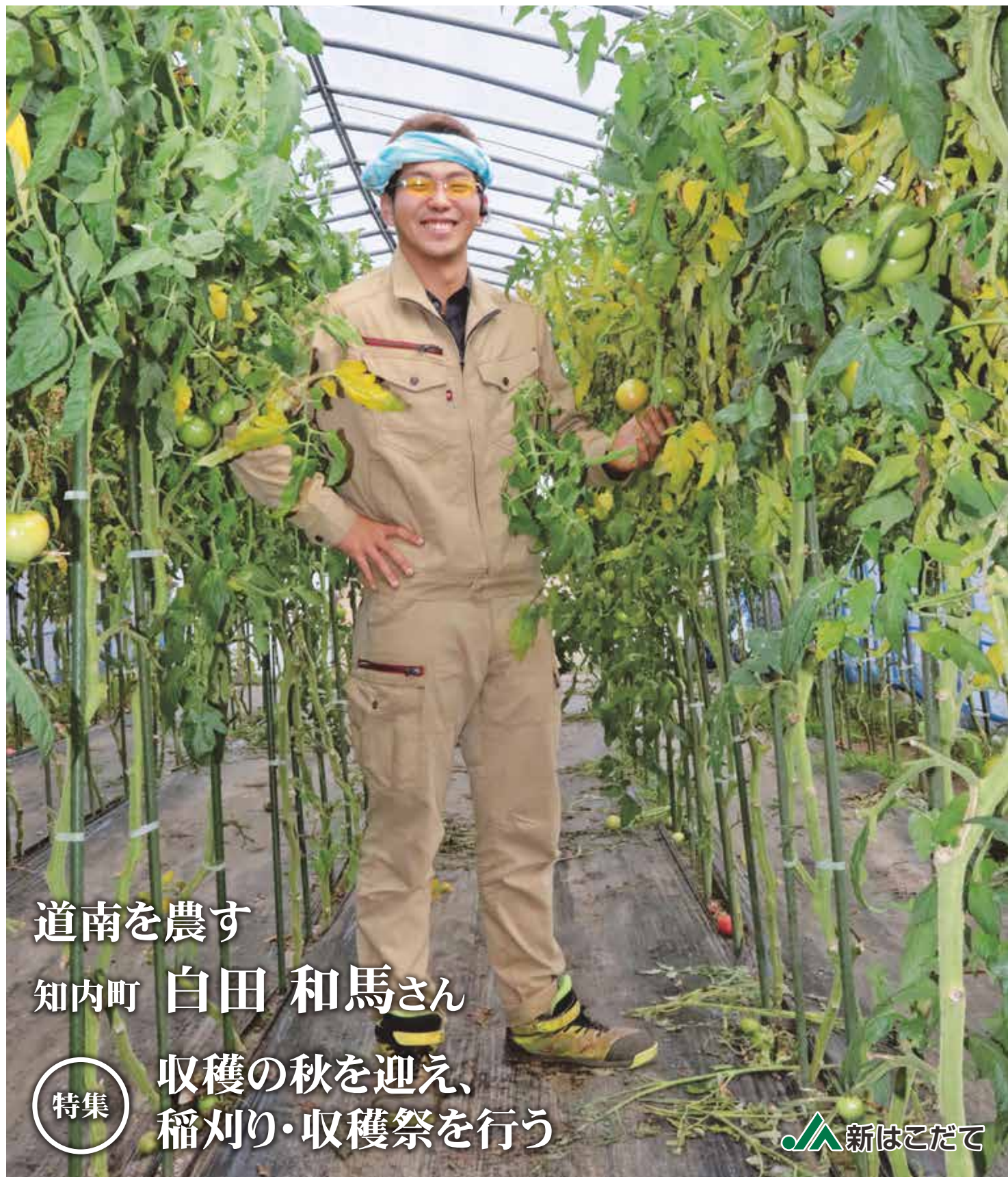
えすぽわーる

新函館

11

November
2018

No.195



道南を農す

知内町 白田 和馬さん

特集

収穫の秋を迎え、
稲刈り・収穫祭を行う

 新はこだて

- 2 道南を農す
知内町 白田 和馬さん

- 4 特集
収穫の秋を迎え、
稲刈り・収穫祭を行う

- 6 頼れるアグリウーマン
森 吉田 愛子さん

- 7 となりの農家さん
大野 春山 直樹さん
七飯 大槻 六助さん

- 8 トピックス
とれたて部会が対面販売
JA杯パークゴルフ大会
決勝ラウンド 他

- 10 あぐりレッスン

- 12 JAグループ通信

- 13 インフォメーション
農薬取りまとめ申込み受付中
冬の貯金キャンペーン

- 15 みんなの
まるめ郎広場

- 16 今月の朝ご飯
ナガイモのグラタン
ナガイモのかき揚げ



愛犬「ココ」ちゃんとツーショット。「最近、ココが体調を崩している」と大好きな愛犬を心配する和馬さん。



熱帯魚を眺める和馬さん。「ちゃんと水も流れています。家の近くで見つけたカワニナも一緒の水槽に住んでいます」と楽しそうに話す。



機械物は好きで、特にトラックが好きで和馬さん。「本格的なオートトラックとまではいかないけど、空き時間にトラックをいじっている。」と話す。※取材日は車検中でスマートフォンの写真を見せられました。

「トマトは日々の管理が大事」と話す。



知内町 元町地区

しら た かず ま
白田 和馬さん(24)

トマト	20a
黒大豆	192a

「農業集中」の決意を胸に

規模拡大に取り組む農業者

農業専念に後悔なし、挑戦と改善を日々模索

農業に専念して2年目を迎える白田和馬さん。4人兄弟の長男で幼いころから実家の農作業を手伝う機会もあり、祖父の良正さんとも、よく後継者になる話をしていたという。白田家は祖父の良正さんが大工の仕事を引退後、農業を始め、父の順一さんが会社勤めと農業の「二足のわらじ」で続けてきた。和馬さんも高校卒業後は民間企業へ就職し、休日のみ農作業を行っていた。しかし、仕事と農業の両方に集中するのは、将来、経営規模の拡大等を考えると難しいというだけでなく、それ以前にも手を掛けられない作業なども毎年あったという。そんな中、22歳で『農業1本でやっていこう』と決意し現在に至る。今の心境を聞くと「作付面積の拡大や収量アップ等にチャレンジするのは、体力的にも増々厳しくなると思い、思い切って農業に専念することにした。今は自分の考えを実際に行動に移すことができるので、忙しさもあるが、とてもやりがいを感じているし、専念して良かったと思う」と笑顔で話す。

定植などの一人では難しい作業は、近所に住む昔からのお手伝いさんに来てもらっているが、その他の防除や収穫作業などは和馬さん一人で行っていることが多いとのこと。

今回は『麗華』から『麗月』へ

昨年は、父のやり方や意見を重視。本格的に自身の考えを取り入れたのは今年から。昨年、トマトは『麗華』のみを作付けしていたが、今年は約半分で『麗月』を作った。和馬さんは「麗月が予想以上に玉がきれいで花付きも良く、味も良かった。麗華より手ごたえを感じた」と話す。来年はすべて『麗月』にする予定。また、定植時には昨年より苗を植える間隔を狭めて収量増加を図った。結果として、収穫量は増えたとのこと。

黒大豆については「土壌処理剤の散布スピードが速く、あまり効き目がなかった」と反省点もあり、次回への課題とした。

来年に向けては「現在、使われていない農地を発見したので、地主と交渉し、話が上手くまとまれば、その土地で大豆やそばを作る予定」と話す。他にも、新規作物もいずれは挑戦したいと語った。

大野支店収穫感謝祭を開催

北斗オータムマルシェと共催し、過去最大40ブースの出店



大野支店は10月20日～21日の2日間、同支店特設会場で「収穫感謝祭」を開いた。「北斗オータムマルシェ2018」との共催で、今年は過去最大の30団体で40ブースの出店となった。当日は晴天に恵まれ、会場は開始前から大勢の買い物客であふれ、スタート直後に行われたお米無料プレゼント企画には長い列ができていた。



同支店は新鮮な農産物や新米などを特別価格で販売した他、JAオリジナル商品「農協フーメン」のブースも設け、人気を集めた。北斗市4Hクラブも出店し、生と塩ゆでした落花生を販売した。



北海道米に関するクイズ企画では、勝手が当たる大抽選会を行った後、餅まきで締めくくり、祭は盛況に終わった。



刈り・収穫祭を行う

体験や収穫祭が行われました。



きこりろ収穫祭



新米試食会



木古内支店女性部は10月13日、木古内町の直売所「きこりろ」で、今年1年の感謝を込めて収穫祭を開いた。

町内で収穫された馬鈴薯や人参、大根、きゅうりなどの新鮮な農産物が並んだ他、馬鈴薯と人参の詰め放題や1000円以上の購入でべこもちが当たるクジ引きなども行った。芋の塩煮の無料提供では、来場者から「甘くておいしい」などの声が聞かれた。同グループの林香葉代表は「生産者からたくさん出品物が集まり、芋の塩煮も大好評で良かったです。来年も大勢の人に来ていただきたいです」と笑顔で話した。



「ぶっぺりん」が最多得点

10月5日、道南で収穫された「ぶっぺりん」など新米の試食会を北斗市の函館育ちライスターミナルで開いた。当JAを含む関係機関から23人が出席。炊きたての新米を食べ比べ、「このおいしさなら、自信を持って販売できる」と納得の評価をした。

初めに同JAの輪島桂組合長が「6、7月の不順な天候が響いたが、ある程度盛り返した。生産者の努力に感謝したい」とあいさつ。

参加者は、同JA管内産の「ぶっぺりん」「きたくりん」「ななつぼし」と新潟産「シビカリ」の新米を、銘柄を伏せて食べ比べした。白さ、つや、粘りなど総合評価で「ぶっぺりん」が最多得点を獲得した。

第7回大収穫感謝祭inあつさぶ2018

組織一体で「農業の町」をPR

厚沢部支店は10月6日、同支店前駐車場で「第7回大収穫感謝祭inあつさぶ2018」を開いた。地元青年部や女性部、生産者が一体となり、多彩なイベントを繰り広げ「厚沢部基幹支店の取り扱い農産物」を広くアピールした。終始雨の降る中での開催となったため、予定されていた吹奏楽やダンスステージは中止となったが、会場には特別価格の地元野菜や手作りご当地フードなどを買い求めにきたお客で賑わっていた。

「あつさぶメークイン」の詰め放題、塩煮の無料提供、新蕎麦の手打ちそばの実演と販売も人気を集めた。その他にも、クジで器の大小が決まる「新米ゲット」ゲームやふつくりんの新米を食べ比べする「新米ソムリエチャレンジ」などを行い、来場者は年に1度の祭りを楽しんだ。



収穫の秋を迎え、稲

実りの秋を迎え、各地で稲刈り

稲刈り



函館大妻高等学校の食物健康科1年生28人は10月2日、5月下旬に田植えをした北斗市の水田で稲刈りを体験した。

生徒たちは、水田を提供した白戸昭司さんから稲刈りの方法や刈り取った稲の束ね方などの指導を受け、慣れない作業に苦労しながらも楽しんで作業していた。



道南ラルズ・ホクレン函館支所



株式会社道南ラルズとホクレン函館支所主催の稲刈り体験ツアーが9月22日、木古内町で行われた。

稲刈りは函館育ちふつくりん蔵部南部米品質向上委員会会長の東出雅史さんの水田で行われ、参加した親子9組約30人は、雨の中、雨具を着て収穫を体験した。

特

収穫の秋を迎え、稲

実りの秋を迎え、各地で稲刈り

集

刈り・収穫祭を行う

体験や収穫祭が行われました。



きこりろ収穫祭



新米試食会



木古内支店女性部は10月13日、木古内町の直売所「きこりろ」で、今年1年の感謝を込めて収穫祭を開いた。

町内で収穫された馬鈴薯や人参、大根、きゅうりなどの新鮮な農産物が並んだ他、馬鈴薯と人参の詰め放題や1000円以上の購入でべこもちが当たるクジ引きなども行った。芋の塩煮の無料提供では、来場者から「甘くておいしい」などの声が聞かれた。同グループの林香葉代表は「生産者からたくさん出品物が集まり、芋の塩煮も大好評で良かったです。来年も大勢の人に来ていただきたいです」と笑顔で話した。



「ぶっぺりん」が最多得点

10月5日、道南で収穫された「ぶっぺりん」など新米の試食会を北斗市の函館育ちライスターミナルで開いた。当JAを含む関係機関から23人が出席。炊きたての新米を食べ比べ、「このおいしさなら、自信を持って販売できる」と納得の評価をした。

初めに同JAの輪島桂組合長が「6、7月の不順な天候が響いたが、ある程度盛り返した。生産者の努力に感謝したい」とあいさつ。

参加者は、同JA管内産の「ぶっぺりん」「きたくりん」「ななつぼし」と新潟産「シビカリ」の新米を、銘柄を伏せて食べ比べした。白さ、つや、粘りなど総合評価で「ぶっぺりん」が最多得点を獲得した。

七重小学校



七飯町立七重小学校の3年生93人は10月5日、5月に田植えした「きたくりん」の稲刈りを行った。児童らは長靴と軍手を履き、水田を提供した小田切清志さんらの指導を受けながらグループ単位で稲刈りに挑戦。終了後には感想文をまとめた他、町産の農産物について学習した。

茂辺地小学校



北斗市の茂辺地小学校の児童10人は10月4日、宗山幸夫さんの水田で稲刈りを体験した。

宗山さんが実演した後、児童らは5分間の稲を刈り取った。その後、粉摺り作業を行い、粉入れを見学した。児童からは「去年より上手にできた」などの声が聞かれた。



▲箱詰め作業中の春山さん

大野

反収を上げて収量アップを目指す

春山 直樹さん(37) 長ねぎ

北斗市東前地区の春山直樹さんは、ハウス16棟、露地約9反で長ねぎを栽培している。長ねぎの他には、水稲、白菜、トマト、ほうれんそうを作付けしている。露地ねぎの収穫は6月より始まり、10月上旬ころピークを迎え、11月上旬頃に終える予定。1日当たり約120ケース前後を出荷している。

今年の出来栄を聞くと「細め傾向だが、収量は例年くらいになりそう。これからの収穫分が長雨の影響を受けたところだから心配だ」と話す。

今後については「反収を上げて、少しでも収量を上げていきたい」と語ってくれた。

〈取材 大野支店 長谷川義人〉



となりの農家さん

函館

美味しい野菜を

届けられるように

大槻 六助さん(61) 大根

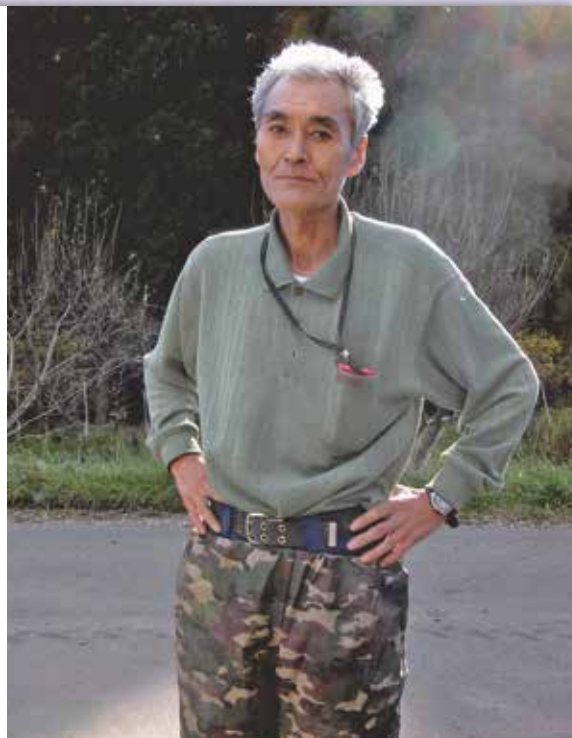
函館市白石地区で農業を営んでいる大槻六助さんは現在、大根の収穫作業を行っている。

土寄せをしたりと丁寧な管理作業を心掛けています。

大根の他にも人参300a、馬鈴薯750a、南瓜300aを作付している。営農する上で注意している点は「こまめに圃場巡回をし、作物に病害虫が発生していないかを確認したり、

今後については「品質が良く、美味しい野菜を提供出来るよう、これからも試行錯誤をしながら農業を続けていきたい。また、健康第一に夫婦共々頑張りたい」と笑顔で話した。

〈取材 七飯支店 花田有希〉



▲「健康に気をつけて頑張ります」と大槻さん

頼れる♡アグリウーマン♡



女性が経営を支えると言っても、その支え方は農作業の手伝いだけではなく、家事や育児など様々あります。そんな農家経営を支えている女性にインタビューしました。

楽しんで農業をすることが一番大事！

森町

吉田 愛子さん



取材日は「森町文化祭」(砂原会場)にて、森支店女性部部長として農産物を販売。「消費者との交流が楽しみ」と嬉しそうに語ってくれた。

●自分が感じる「農業の魅力」は何ですか？

自分達が育てた農産物について、「美味しい」「また買いに来るね」と言ってもらえたときに「やりがい」や「魅力」を感じます。

特に消費者の方々と直接、交流を図る中で「より美味しくなる、オリジナルの調理・加工方法」を伝えることが大好きです。

●イチオシの料理を教えてください！

「カボチャまんじゅう」です。カボチャを煮て潰した後「ふくら粉」やバター、卵などと混ぜて蒸すだけの簡単な調理方法で、美味しいまんじゅうが出来ます。

カボチャは森町特産の「みやこカボチャ」を使うと、より美味しく出来上がるのでオススメです！

●これから担う若手女性農業者の方々に一言！

とにかく「楽しんで農業をすること」が一番大事だと思います。

そのためには、女性部の活動に積極的に参加して、周りの人達と色々な話をしてみることが大切です。交流の中で何か一つでも、身になることや新しい発見があれば、女性部としても嬉しい限りです。

〈取材 森支店 営農生産課 加藤雄貴〉



「森町文化祭」にて森支店女性部の入江明美副部長(右)と一緒に撮影。「若い人達にも沢山参加してほしい」と愛子さん。



熱心に講師の話に耳を傾ける受講者

子会社



サツマイモ掘りを楽しむ子どもら

森



試食用のトマトをお客に配る熊倉部会長(右)

販売

えすぽわーる TOPICS

トピックス



管内各地の旬な情報をお届けします。



新鮮野菜をPR
とれたて部会が対面販売



詰め放題に夢中のお客

**販売力強化に向けて
ホクレン函館支所が
タイヤ塾を行う**

ホクレン函館支所は10日、当J A大野支店でブリヂストンタイヤ塾を開いた。新はただて協同の社員9人が受講した。

講師はブリヂストンタイヤジャパン株式会社の引山豊さん。

最初に、販売と行動の実績確認として、各店舗の9月までのタイヤ販売本数とチェックサービスの実績を確認。取り組みの成果と成功要因を報告し情報を共有した。その他、実際の販売場面を想定した対応訓練等も行い、販売スキル向上に努めた。

**笑顔あふれる地域イベント
「ミニゴリ青年ぶっ」が
サツマイモ掘り体験を行う**

濁川地区の若手10人で作る農業者グループ「ミニゴリ青年ぶっ」は13日、地域の小学生や保育園児を招き、サツマイモ掘り体験会を行った。児童と園児、保護者ら約40人が参加。5年前からサツマイモの試験栽培に取り組み、秋の収穫を地域の親子に楽しんでもらっている。

真っ赤なサツマイモが土の中から顔を出すたび「わー、でっかい」と歓声が響いた。収穫した約100キロのベアーズマは参加者が持ち帰った。

J A新はただて新鮮とれたて野菜部会は9月29日、30日の2日間、函館市のイオン湯川店、北斗市のイオン上磯店で対面販売を行った。昨年、イオン北海道誕生10周年祭の一環で参加し好評だったことから、今年も部会員4人とJ A職員が地元の新鮮野菜をPR・販売した。

2日間とも部会員が生産したトマト、キャベツ、きゅうりなど約15種類の農産物を販売した他、馬鈴薯や玉ねぎ、人参の詰め放題も行い、人気を集めた。

同部会の熊倉勇樹部会長は「今年は豪雪の影響などがあり、農産物の作り手としては生産が難しい年だと思う。対面販売は消費者と「コミュニケーションをとることが出来る良いイベントだ」と話した。



日常会話を楽しく学ぶ実習生

大野



株式会社アプレの社員から説明を受ける女性部員

八雲



完成した梅を丁寧に袋に入れる女性部員

女性部



熱戦が繰り広げられた決勝ラウンド

金融

**日常会話で日本語を学ぶ
外国人技能実習生に
楽しく日本語を教える**

大野支店は9月26日、北斗市内の組合員で受け入れているベトナムからの外国人技能実習生7人を対象に勉強会を開いた。

昨年からの受入農家との「コミュニケーション」を円滑にする目的で、受入農家からの依頼を受け、営農課職員が月2〜3回程度、日本語を中心に授業している。

今年10月の技能評価試験対策も行い、土づくりや病害虫の防除などを学習した。実習生は終始楽しそうに授業を受けていた。

**独自技術を見学
八雲支店女性部が
水耕栽培技術を学ぶ**

八雲支店女性部は10月19日、七飯町内の株式会社アプレを見学し水耕栽培について学んだ。

小松菜や大葉、ミナス、ピーマンなど年間約30品目程度を通年定量栽培している多品種同時栽培に関することや無農薬栽培などの同社独自の技術について説明を受けた。

同女性部の都築孝子代表は「エアシャワーを浴びて入ったハウス内は食品工場のように感じた。衛生面への配慮に驚きました」と話した。

**自慢の味で期待に応えたい
七飯支店女性部が
梅漬けパック詰め**

七飯支店女性部は10月10日、11日の両日、同支店農産物加工施設で梅漬けのパック詰め作業を行った。今年は日照不足等の影響から小粒傾向・収量減少となり、昨年より少ない520キロを仕込んだ。パック詰めされた梅漬けは、札幌市のホクレン大収穫祭や同支店資材店舗の他、今年から道の駅「なないろななえ」にも出品。

杉村恵子部長は「私たちが作る梅漬けを楽しみにしている方のためにも、これからも無理をしない程度に梅漬け作りを続けていきたいです」と話した。

**接戦制し、澤村さん・申田さんが優勝
J A杯パークゴルフ大会
決勝ラウンド**

10月10日、グリーンピア大沼で、第3回J A杯パークゴルフ大会決勝ラウンドを開いた。厚沢部、若松、森地区を除く4地区で予選会を行い、7地区から上位46人が決勝ラウンドに進出し、熱戦を繰り広げた。

男性の部は大野地区の澤村孝夫さん、女性の部は大野地区の甲田洋子さんが優勝した。団体の部は大野地区が優勝した。

上位入賞者には旅行券やギフトセット、お米などの景品を贈呈した。

GAPに取り組もう ～大野農業高校の取り組み事例から～

GAPは農場運営の効率化、経費節減、農作業事故防止、食品安全を考慮したシステムであり、国や道でも普及推進に向けた取り組みを進めています。

GAPの取り組みは特別なものではなく、日常作業や農場管理を見直し、より働きやすいように改善することです。

あまり難しく考えず、「農場が今よりも良くなればいい」という、軽い気持ちで始めてみてはいかがでしょうか。

大野農業高校では昨年から今年にかけて、水稻でのJGAP認証取得を目指して取り組みました。ここでは取り組み事例としてGAPの内容と効果について紹介します。



1. 最初は「整理整頓」と「不要物の撤去」から



取り組み前の資材置き場



整理整頓された資材置き場



刈り払い機は転倒防止対策をして壁に立てかけ



道具類はわかりやすいように整理整頓



- ・何がどこにあるのが明確になり、探し物をする時間が減った。
- ・整理整頓と資材の在庫記録をつけることにより、無駄な買い物が減った。
- ・資材置き場が広くなり、気分的にも余裕が出てきた。
- ・不要物の処分には予想以上に経費がかかりました。

2. 肥料と農薬の管理



肥料は床に直接置かず、パレット上に置く



農薬は鍵がかかる保管庫で厳重管理



- ・毒物を扱っているという認識を強く持ち、保管方法を厳重にする。
- ・使用時には必ず複数人で使用基準の確認を行い、使用履歴簿に記載する。
- ・使用履歴、在庫台帳の確認により、誤使用や期限切れ等の間違いを防ぐ。

3. 危険回避の取り組み

機械・器具	事故原因	安全対策のルール化
刈り払い機	不安定な姿勢	危ない箇所は手刈りする
	周辺環境	石や木の枝の除去
	回転時	防護装備の徹底
	他人	他人を近づけない
脚立	転倒	足場の確認
	転落	天板に載らない
作業機	巻き込まれ	トラブル時のエンジン停止



目立つところに掲示してルールを周知



- ・生徒のみでは作業をさせません。必ず教員がつくようにしています。
- ・生徒の安全は最優先課題とし、ルールの周知と徹底をさせています。
- ・体調が悪い時は無理をせず、教員へ報告するように周知しています。

4. 取り組みの効果と感想（教員からの聞き取り）

- ・生徒の意識が変わってきた。はじめは教員の指示にただ従うだけであったが、GAPの取り組みを進めるに従い、背景にある危険やリスクについて、自ら考えるようになった。
- ・また、生徒同士で積極的に意見を言いあうような場面が増えてきた。
- ・取り組みには苦労したが、取り組み後は農場管理の多くが楽になった。
- ・施設が古くてもGAP基準書が求める対策がとられていれば問題なかった。
- ・予算が限られる中、知恵と工夫で金をかけないように努力した。

普及センターではGAPの取り組みに対する支援を行っています。
GAPに取り組む意向や興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

平成31年営農用 農薬取りまとめ申込み受付中

各支店生産資材店舗では、農業生産コスト低減に向けた【農薬早期予約取りまとめ】申込みを現在受付中です！

「JA新はこだて 重点推進品目」を積極的に利用して、コストダウンをみんなで目指しましょう！！

①
JA新はこだて
重点推進品目
(通常価格より約△14%)
約130品目超

②
JA新はこだて
取りまとめ品目
(通常価格より約△4%)

③
JA新はこだて 大口取扱奨励金
年間農薬購入額で段階的に奨励金をお支払い
致します(0.1%~1.5%)
(JA新はこだて重点推進品目は対象となりません)

①・②・③で
がっちり
コストダウン！

種もみ播種と一緒に
施用できる「いもち剤
+殺虫剤」は？

効果のある
水稲除草剤
を教えてください？

JAしか取扱って
いない「豆つぷ剤」
ってなに？効きは
どうなの？

馬鈴しょの防
除体系を見直
したい！

小麦のニパー
レ・DON低減
対策は？

展着剤はなに
を使えばいい
の？

野菜類のべと
病防除はなに
がいいかな？

デントコーン
の除草剤選
びに困ってい
ます...

大型規格品で農
薬コストを低減
できるの？

JA新はこだて
すべて
各支店
生産資材担当者が
★しっかり お答え
★きっちり 提案
★がっちり サポート
いたします！

お問い合わせ・お申込みは各支店生産資材店舗へお願いします

JA新はこだて

冬の貯金
キャンペーン

平成30年11月1日(木) ▶ 平成31年1月31日(木)

対象 定期貯金新規お預入れ及び増額書替
(ともに20万円以上)のお客様

更に窓口にて年金の新規お受取り(指定替含む)を同時に手続きで上記金利に0.05%を上乗せ！！

ご契約のお客様にすぐきなプレゼント

キャンペーン
ご契約のお客様に
【先着全店合計950名様限り】
kippi's x CHORIS
マルチケース
プレゼント！！

さらに
100万円
以上の
増額又は新規預入で

ふっくらんこ
お米2kg
プレゼント！！

※上記プレゼントはお一人様各1個とさせていただきます。複数の店舗でご契約の場合は、最初にご契約の店舗のみでお渡しいたします。
※当キャンペーンの対象は新たに預入いただく資金といたします。

1年定期
0.10%
税引後0.079%

3年定期
0.11%
税引後0.087%

JAグループ通信

平成30年北海道胆振東部地震及び台風21号により、亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

この度の災害に関しまして、各連合会の取り組み内容をお伝えします。

JA北海道中央会

JAグループ北海道では、9月6日、「平成30年北海道胆振東部地震・台風21号に係る農業団体災害対策本部」を設置し、胆振東部地震の被害にに対し、緊急的に営農資材や生活物資の支援や農業関連施設の復旧に向け人的支援を実施しました。

政府・与党などに対しては、被害状況や現地で必要とする対策を迅速に伝え、ライフラインや農地・共同利用施設等の復旧、被災農業者の営農継続支援、災害に強い農山漁村づくりに向けた整備など万全の対策を求めてまいります。

また、組合員が、安心して営農を継続できるよう、北海道電力株式会社に対し電力の安定供給ならびに万全な発電・通電体制の構築を要請しています。



JA北海道信連

JAバンク北海道では、窓口対応として通帳等をなくされた方に対して、一定の範囲内でお支払に応じさせていただきます。

また、被害組合員に対する相談窓口を設置し、被災された組合員が今後必要とする資金のお借入れや既往借入金のご返済等に関する相談をお受けする等、関係機関と連携を十分にとりながら金融支援対応に万全を期していきます。



ホクレン

ホクレンは、「北海道胆振東部地震・台風21号対策本部」を設置し、被害にあわれた生産者の皆様の一刻も早い復旧に向け、要請に応じた人的・物的支援を含め、農畜産物の生産、貯蔵、流通の正常化に向けた活動を続けております。

今回の災害に際しましても、協同組合の力を結集し、会員JA・組合員の皆さまが一日も早く、平穏な生活を取り戻すことができますようお祈り申し上げるとともに、ホクレンとしての役割を今後も全力で果たしてまいります。



JA共済連北海道

JA共済連では、9月18日から連日25名体制で被害調査・査定体制を組み、現地に赴き早急に調査・支払いを進め、復旧支援に努めてまいります。

一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。



JA北海道厚生連

北海道厚生連では、行政、JA、関係機関等の協力を得て早期に診療体制の回復に向け対応いたします。

組合員の皆さまが一日も早く平穏な生活を取り戻すことができますようお祈りいたします。



みんなのまるめ即広場



全部埋めなくても
答えはでるよ!
まずは「3×3のブロック」で
数字を順に考えてみよう!

	6	2	7	4	9	8		1
1	3	4		2	6		5	
8			3		1	6	4	
3	5	6	4	8		7	1	
4		1			5	2		3
9	2	8	1		7		6	5
2	4		5	6			7	
	8		9	1			2	6
6		5			8	3	9	

数独®ニコリ
二重枠に入った
数字の合計は?

ルール

- (1) 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- (2) タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

例

Q. A.

プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で **③** 名様に、以下の **②** 種類からお好きな商品を **③** 袋お送りします。
希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン (1袋2食入り) あっさぶの豆 (1袋110g入り)



あて先

クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566
✉ E-mailアドレス shouta.horiba@ja-shinhakodate.com

↓応募用紙はこちら(切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)
応募締め切り 11月21日(水)(当日消印有効)

※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせていただきます。

こたえ

ご希望のプレゼント **農協ラーメン・あっさぶの豆**

※右記のいずれか1つに○を付けて下さい

〒 _____

住所 _____

氏名 _____ 年齢 _____ 才 _____ TEL _____ - _____ - _____

ペンネーム _____

組合区分 **正組員・准組員・その他** ※○を付けて下さい

コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

今月号の当選者

今月は12件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

クイズ当選者

前回の答え
なないろなえ

江差町 さっちゃんさん
森町 おんせんトマトさん
上ノ国町 ノンノさん

読者の声 たくさんのご応募、ありがとうございます。

- ✉ 江差町 さっちゃんさん
10月頃から雪虫が見られました。もうすぐ冬ですね。冬支度急がなきゃ。(以下省略)
- ✉ 森町 おんせんトマトさん
皆さまのご活躍に励まされます。自然災害に備えます。
- ✉ 上ノ国町 ノンノさん
もうすぐ、今年の収穫も終わりです。
- ✉ 知内町 キノシタさん
何時も楽しく読んでいます。これからも面白クイズをどんどん出してください。
- ✉ 森町 5296さん
もうそろそろ冬がやってきますね。
- ✉ 北斗市 雲を読む女さん
10月号特集とても良かったです。職場の防災会議の参考にさせて頂きました。
- ✉ 七飯町 まさちゃんさん
拝見させて頂いています。今度ゆっくりと道の駅めぐりをしたいです。
- ✉ 八雲町 さっちゃんさん
「となりの農家さん」の記事を見て、とても興味深かったです。潮トマト食べてみたいです。
- ✉ 北斗市 やまちゃんさん
特集「地震を知り、震災に備えよう」を読んで、再確認できて良かったです。
- ✉ 北斗市 おていちゃんさん
新米が出来ました(ふっくり)(びかびか)美味しいです。
- ✉ 知内町 パワフルさん
ニラの収穫も終わりに近づいて来ました。もう少しガンバレ!

議案

- 第1号 内部統制規程の一部変更について
- 第2号 財務管理規程の一部変更について
- 第3号 退職給与規程の一部変更について
- 第4号 東地区真空予冷施設、西側受入施設・予冷庫の解体処分について
- 第5号 函館支店馬鈴しょ共選施設雪害復旧工事について

- (1) 職員の退職について
- (2) 組合員の異動について
- (3) H30上期定期監査結果について(株新はこだて協同)
- (4) 委員会の開催について
 - ① 第3回企画管理・信用共済委員会
 - ② 第3回営農販売・経済委員会
- (5) 平成30年度産米ライスターミナル受入状況について
- (6) 第29回JA北海道大会の開催について
- (7) 平成30年度道南・後志・日胆・石狩地区合同女性役員・参与研修会の開催について
- (8) 平成30年度道南・後志・日胆・石狩地区合同JA理事研修会の開催について
- (9) 永年勤続役員表彰の実施について
- (10) 平成30年度災害被害に対する資金対応について
- (11) 平成30年度以降の収支シミュレーションについて

理事会開催報告

第10回理事会議案(定例)

- 日時/平成30年10月26日(金) 10時30分
- 場所/北斗市総合分庁舎

報告事項

- (1) 職員の退職について
- (2) 組合員の異動について
- (3) H30上期定期監査結果について(株新はこだて協同)
- (4) 委員会の開催について



健康百科

緑内障を早く見つける



日本では、40歳以上の人の約20人に1人は緑内障があるとされており、中途失明の原因の第1位を占めています。失明を防ぐためにも、緑内障をできるだけ早く発見して、適切な治療を受けることが大切です。

緑内障とは、眼圧が上昇し、そのため視神経を圧迫して視野欠損や視力障害を起こす病気なのですが、最近では、眼圧が高くないにもかかわらず、典型的な緑内障を起す人が多いということが分かっています。これを正常眼圧

緑内障と呼んでいます。どうして眼圧が正常でも緑内障にかかるのかというと、はっきりした原因は分かっていますが、高齢になるほど増えてくることから、年を取って視細胞が弱くなり、壊れやすくなっていることが考えられます。

わが国では、正常眼圧緑内障が、緑内障全体の約7割を占めているといわれますが、最初のうちは、症状がほとんどないまま、ゆっくりと進行します。そのため、かなりの人が知らないうちに緑内障になっている心配があります。

自覚症状が現れてくるのは、緑内障の中期になってからで、視神経が障害されて5、10年ほどたつてからです。緑内障では、いったん起こった障害は良くなりませんが、視力障害など自覚症状が出る前に早く見つけて、進行をできるだけ食い止めることが必要です。

そのためには眼圧検査だけでは不十分で、眼底検査や視野の検査が必要になります。40歳を過ぎたら、年に1回は眼科で検査を受けて、緑内障があるかどうか調べてもらうのが望ましいといえるでしょう。

佐久総合病院名誉院長 ●松島松翠

